

駅前広場・駅前倉庫活用 事業費などを増額

平成30年度補正予算のうち、一般会計(第3号)は1億511万円を増額し、予算総額52億5519万円とすることを全員賛成で可決しました。

おもな内容は、駅前広場及び駅前倉庫活用事業に係る費用1340万円や、県営貝田地区等ほ場整備事業費増加分に伴う負担金1125万円、職員の人事異動等に伴う人件費などで、その財源はおもに補助金や一般財源でまかさないです。

一般会計補正予算

質疑

人件費の総額に占める割合は

は、4月の人事異動の組み換え及び超過勤務の本俸の6%を見込んでいるとのことだが、補正予算総額1億511万円のうち、人件費はどの位を占めるのか。

総務課長 補正予算総額の40%で約4500万円が人件費となっている。

人件費圧縮のため超過勤務削減への町の考えは

問

(八島博正議員)

人件費についての補正額約4500万円のうち、90%以上が超過勤務手当である。財政を考えると、人件費を圧縮するには、超過勤務手当を減らすしか方法がないと思う。職員の健康維持も含め、超過勤務を減らしていくべきと考えますが、いかがか。また、休日の催しなどを続けていけば、職員の超過勤務は減らないのではないかとと思うが、町の考えを伺う。

平成30年度一般会計 補正予算(第3号)の主な内容

【主な事業】

・駅前広場工事費	670万円
・駅前倉庫改修費	670万円
・東日本大震災によるL型擁壁復旧費	1000万円
・県営貝田地区等ほ場整備事業負担金	1125万円
・地域おこし協力隊募集業務委託費	190万円
・国見町物産展費用	163万円
・その他(人件費の整理、観月台文化センター施設修繕費など)	6693万円
計	1億511万円

【主な財源】

・国・県からの補助金など	681万円
・その他(前年度繰越金・特別会計繰入など)	626万円
・一般財源(町税・地方交付税など)	9204万円
計	1億511万円

町長

これまで大震災の復旧・復興業務などに対応するため、職員が超過勤務にならざるを得ない状況でもあり、よく対応していると感じている。超過勤務の中でも東京電力に請求できる部分もある。平成32年度までの復興・再生期間までの状況かと思うが、町の維持発展に向けて鋭意対応していきたい。今年度の予算は原点回帰予算としており、超過勤務も震災前

の状態に戻していきたいと考えている。また、休日のイベントなどについては、今年度より縮小している。平成32年度までは国や県からの財政的な支援も得られるが、それ以降は難しくなることも考慮し、従来のイベントなどは残し、さらに充実させていきたいと考える。

問

(佐藤定男議員)

人件費について



活用が期待される藤田駅前の広場と倉庫

地域おこし協力隊は どのような人材を募 集するのか

問

(浅野富男議員)

地域おこし協力隊
募集業務について、190

万円の補正が計上されている。地域おこし協力隊には、町の活性化に貢献できるような方が必要と思われるが、考えを伺う。

企画情報 課長

専門的な業者が人材発掘をするための委託料である。現

在、地域おこし協力隊として1名雇用し、国見ホイスコーレなどでアドバイスをしている。今回の補正予算により新たに採用する方についても、人材育成、さらに道の駅の活性化などにも貢献できる方を募集する考えである。

都市計画費の工事 請負費の内容は

問

(渡辺勝弘議員)

都市計画費の工事
請負費に、1270万円の
工事請負費が計上されてい
るが、内容を伺う。

建設 課長

600万円については、小坂字梅ノ町地内の工業団地の搬入道路について、東日本大震災の影響でゆがんだI型擁壁の復旧費用である。670万円については、藤田駅前の駐車場の整備費用である。

遊休施設とはどう いった施設なのか

問

(松浦和子議員)

歳入の県支出金に、福島県遊休施設等活用事業補助金500万円とあるが、遊休施設とはどういった施設なのか。

企画情報 課長

遊休施設とは、使われていない建物や、特に目的を持たず使用しているもので、多目的に使えるものである。今回の補正で計上している駅前倉庫の改修事業が該当しており、費用のうち

4分の3の補助金を受けられるため、計上したものである。

一般議案

消防ポンプ自動車 一式を購入

動産の取得

(要旨) CD-I型消防ポンプ自動車一式を、174万2000円で「株式会社モリタ仙台支店(宮城県)」より購入する。

人

事

教育委員会委員の 任命に同意

平成30年9月30日任期満了により、現職の志村裕美氏(高城)の再任に同意しました。

人権擁護委員候補 者を推薦

平成30年12月31日任期満了により、再任の佐藤勢津子氏(塚野目)の推薦を適任と認めました。